

# 照源寺だより

第2号

発行所

東海山照源寺

<http://www.shogenji.net/>

桑名市大字東方1308

編集 井上隆昌

## お稲荷さん鳥居に寄進

照源寺檀家 阿部修氏

5月8日に檀家の阿部修様が照源寺境内に安置しています稲荷大明神の鳥居を御奉納していただきました。

お寺の境内に鳥居があるのは・・・？不思議な感じがするかもしれませんが、別に間違っていることではございません。

照源寺の古地図を見ますと、現本堂の南に鎮守社がありまして、照源寺を守る土地の神様を祀っております。当稲荷大明神は桑名がまだ宿場町として栄えていたころ、芸者さんが商売繁盛のために今の江戸町付近でお祀りしていたのを、次第に芸事が衰退し、祀りきれなくなり、当寺に昔からある鎮守社と合祀したものであります。稲荷大明神は商売繁盛の対象として信仰が深く、明治以降神仏分離の政



策以降ほとんどは神社が管理をしています。日本三大稲荷の一つである豊川稲荷等は寺院が管理しております。当山の稲荷大明神も豊川稲荷の分神でございます。是非今度お寺にご参詣の際は稲荷大明神もお参り下さいませ。

## お盆のお話

「盆」と正月の「里帰り」などといわれるように、お盆は昔から日本人の心に深く根づいた風習・行事でありま



す。その由来は「孟蘭盆経」とい

うお経によつています。それによりますと、お釈迦さまの十大弟子で「神通第一」といわれる目連さまが、ある日、亡くなった自分の母親のことを神通力を使って見てみると、なんと母親は餓鬼の世界に落ちて、苦しみにあえいでいました。びっくりした目連さまは、お釈迦さまのところへとんで行き、どうしたらよいかを相談しました。



するとお釈迦さまは、「90日間の雨季の修行を終えた僧たちが7月15日に集まって反省会を行うから、その人たちに「ごちそうをして、心から供養しなさい」とおっしゃり、そのとつりにすると、目連

さまの母親は餓鬼の苦しみから救われました。お釈迦さまはさらに「同じように、7月15日にいろいろな飲食を盆にもつて、仏や僧や大勢の人たちに供養すれば、その功德によつて、多くのご先祖が苦しみから救われ、今生きている人も幸福を得ること

とができよう」とお説きになりました。これがお盆の行事の始まりです。お盆には精霊棚を飾つてご先祖をお迎えし、和尚さんに回向していただき、また菩提寺へ行つてお墓参りをして、数多くのご先祖を心からご供養いたしましょう。

## 一日修養会 開催決定

今年十一月二十三日（祝）に「一日修養会」を開催することになりました。「一日修養会」では日頃の生活ではなかなかふれることの出来ない仏様・お念仏の生活を一日だけですぐ味わつていただき、心身ともに養つていただき、普段の生活をより有意義なものにしていただくものでございます。

今回講師にお招きするのは、京都・清涼寺（釈迦堂）にこ法務されております金森昭憲（かなもりしょうけん）上人でございます。上人は清涼寺随身中に宗教琵琶故江頭法輪（えとうほつりん）師の影響を受け、筑前琵琶を習い始め、現在は人間国宝の山崎旭翠（やまざききよくすい）に師事されております浄土宗琵琶説教師でございます。上人は琵琶説教される数少ない一人でございます。是非この機会に普段聞くことの出来ない琵琶独特の諸行無常の音色に耳を傾けてくださることをお願い申し上げます。

時間・会費等詳細は未定ですが、午前十時頃より昼食を含み午後三時半終了で考えております。ご案内参加申し込み書は後日配布させていただきます。皆様のご参加心よりお待ち申し上げます。



# ごあんない

## 平成十八年

### 大施餓鬼会及び

### 焚上精霊送り法要

## 八月十八日(金)

### 午後一時より

### 照源寺本堂にて

皆様のご参詣心より

お待ち申しております。

特に今年初盆を迎

えられる故人がいます

家は特別回向申し上

げますので「**家族**」で

参り下さいませ。



#### 施餓鬼法要とは？

あれもほしい、これも欲しいと、自分の利益ばかりを思うのが強かつた者が生まれ変わるところが餓鬼の世界。常に飢えの苦しみにさいなまれます。しかしだれかの区別なく救いたいとするのがお釈迦様のみ心。その慈悲の思いから行われるようになったのが施餓鬼会です。是非、施餓鬼会には参列しお念仏を称え、あらゆる精霊の極楽浄土とご家族ご親類の追孝菩提を願い、お釈迦様、阿弥陀様のお慈悲を感じとってください。

#### 墓地探しの方に・・・

お知り合いにお墓を求めたいが墓地が近所には無くお困りの方が多いと聞きます。やむを得ず遠方の霊園等に埋葬する事も多々あると聞きます。当山の照源寺霊園(宗旨問わず)はすべて完売いたしました。若干数ではあります。残っております。今のところは檀信徒様の紹介に限りお分けいたします。お気軽

#### 御寄進御礼

- 一、住職夏用法要衣
- 一、仏具料五拾万円
- 一、仏具料五拾万円
- 一、稲荷鳥居

施主・辻野清志様(東員町)  
 施主・藤田博様(東員町)  
 施主・藤田和也様(東員町)  
 施主・阿部修様(東方)  
 心より御礼申し上げます。

にお問い合わせて下さい。なお檀信徒専用墓地は余分がございます。檀信徒になられる方なら、どなたでも求められます。

#### 蓮の花が見頃

当山の境内の蓮の花が7月上旬より咲き始めました。例年ですと8月初めまでが見頃のように浴びた蓮華。是非お寺にお参りの際は本堂正面右側ををご覧下さい。8種類の蓮が咲き並んでいるかもしれません。



#### 編集後記

いよいよ夏本番になってきました。皆様体調管理は万全でしょうか？お寺の行事も棚経参り・施餓鬼法要と真夏の行事が続いていきます。毎年毎年夏の暑さが強く感じられるのは、私だけなのでしょうか？この暑さを待っていたかのように、鳴くのが当山名物、蝉時雨です。桑名もだんだんと林が消え、市街化が進み、気づいてみると、照源寺の周りは住宅・マンションだらけになりました。居場所を無くした、蝉達はお寺にだんだん集まってきました。「招かざる客」といふべきか・・・夜の眠りをいっそう浅くするのは彼らです。しかし、わずかに一週間の命のため。普段は本当に静かな寺の夜。一ヶ月間と少々、家族共々お悪戦苦闘致します。

